

ガザのジェノサイド 死者数（2025年10月1日時点）

総死者数の推定範囲：

ジェノサイドによる総死者数の推定

19万8,675-99万3,375人

ジェノサイド前のガザの人口230万人の

8.64% - 43.19% 相当

推定方法について

崩壊したインフラ、集団墓地、瓦礫の下に埋もれた行方不明者、アクセスの遮断などにより、正確な数字を把握することは不可能。そのため総死者数に関する公式な統計は存在しない。

歴史的に、ジェノサイドの犠牲者の多くは、医療や食料供給システム、基本的なインフラの破壊などの間接的手段によって命を失う。Lancet誌の文献に基づくと、直接的な死者数に3-15倍の係数をかけることで総死者数を推定することが可能となる。

最小の直接死

2025年10月1日時点のガザ保健省の報告によると

負傷者 直接死した 直接死した
16万8,938 パレスチナ人 子ども
 人以上 6万6,225 人以上 1万9,424 人以上

▷これらは病院で記録された、または家族から直接報告された死亡者で、瓦礫の下、集団墓地、間接的要因による死亡者は含まれていない。

平均すると
子ども1人が**52分**ごとに
殺害されている。

第三者による推計

Richard Hil博士とGideon Polya博士による法医学的分析では、2025年4月時点でのガザの実際の死者数は**68万人**と推定されており、これは一般に報告されている数字の**12-14倍**に相当する。

爆撃と破壊

- ガザに投下された**爆弾は10万トン以上**にのぼり、第二次世界大戦中のドレスデン、ハンブルク、ロンドンへの爆撃の合計を超える。[2025年5月時点]
 - これらの爆弾は合計で、広島原爆の**7倍**の**爆発力**を放った。
- イスラエル軍は、ガザ市及びジャバリアで**1日あたり約300戸の住居**を無人ロボットブルドーザーで破壊している。[2025年9月時点]
- ジェノサイド開始以降、**推定25万棟あったガザの建物の78%**が損壊または破壊されている。[2025年10月2日時点]
- 瓦礫は6,100万トン**にのぼり、現状のままで除去に何十年もかかる。[2025年10月2日時点]
- 家きん農場の93%以上**が破壊され、残る農場も完全に稼働停止した。
 - 数千にも及ぶ広大な農地が計画的な飢餓政策の一環としてブルドーザーで破壊され、これは国連のジェノサイド定義に該当する。

避難・強制移動

- ジェノサイド開始以降、**190万人**が少なくとも1回、**10回**または**それ以上**の強制移動を強いられている。
- 2025年7月時点**
- ガザのパレスチナ人は地区面積の**15%未満**の55km²以下に閉じ込められている。
 - 210万人以上のパレスチナ人が、グアンタナモ湾の拘束スペース以下の狭い範囲に詰め込まれている。

医療危機

- 2025年9月時点で**医療従事者1,670人が死亡**。
 - 361人の**医療従事者**がイスラエルによって拘束されている。*現在も拘束中かは不明
- ガザの病院38施設：プライマリ・ケアセンター157施設すべて**が攻撃された。
 - 22病院が完全に機能停止し、16病院は部分的に稼働している。

2025年9月10日時点

- 精神疾患を持つ**48万5,000人**が治療を受けられていない。（うち2万人は緊急対応が必要）
- 病気の62%は**急性呼吸器感染症**（煙や過密の影響）
- 病気の37%は**急性水様性下痢**
- 15万件以上の皮膚疾患**（かいせん、とびひなど）[2023年10月以降]

ジャーナリストとメディア

- 2023年10月7日以降、**270人以上のジャーナリスト**及び**メディア関係者**がガザで**殺害**された。
- ガザのジェノサイドでは、記録史上もっと多くのジャーナリストが犠牲になった。これまでにガザで殺害されたジャーナリストの数は、南北戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争、旧ユーゴスラビア紛争、アフガニスタン戦争をすべて合わせた数を上回る。

教育への影響

- 66万人以上の学生**がすでに2学年連続で教育を失い、現在3年目に入っている。
- ガザの**教育施設**の**97%**がイスラエルの攻撃で損傷。
 - そのうち**91%**が機能回復のための**大規模修復**または**全面再建**をする。[2025年7月時点]

消された家族

- 2,700家族のパレスチナ人家庭**が**イスラエル**によって**完全に抹消**された。これは家族全員が殺害され市民登録簿から削除されたことを意味する。[2025年5月時点]

子どもたち

2025年9月4日時点

- 孤児：5万6,320人
- 負傷した子ども：4万176人
- 教育を受けられない子ども：91万4,102人
- 食糧を得られない子ども：120万4,102人
- 海外への医療避難を必要とする子ども：4,912人



▷ガザでわずか4か月間に殺害された子どもは**世界中の全紛争で4年間に殺害された子どもの総数を上回る**

飢餓

2025年9月時点

- 深刻な食料不安：
198万人（ガザの推定人口210万人の約94.3%）
 - 64万1,000人が**IPCフェーズ5** [大惨事・飢餓] 飢餓・貧困・死亡
 - 114万人が**IPCフェーズ4** [緊急] 極度な食料不足・深刻な栄養失調
 - 19万8,000人が**IPCフェーズ3** [危機] 食料摂取の不足・栄養失調の増加
 - 飢餓による死者：**440人** ▷うち子ども：**147人**
 - 2023年10月7日以降に殺害された**援助職員**は**540人**
- * IPC（統合食料安全保障段階分類）は、国連が支援する世界的な飢餓監視基準。フェーズ5は最高レベルで、すでに人々が飢餓で命を落としていることを意味する。

行方不明者・瓦礫の下の人々

インフラの崩壊や救助機材の不足により正確な推定は困難を極める。各機関の推定：

行方不明者 8,000-1万1,000人

主に女性と子ども [国連 - 2025年]

行方不明者 1万3,000人以上

瓦礫の下または集団墓地 [Euro-Med Human Rights Monitor - 2025年]

子どもの

行方不明者 1万7,000-2万1,000人

[Save the Children - 2025年]

イスラエル人の死者 1,964人 *

*この数には、イスラエルとレバノンのレジスタンスファイターとの交戦による死者や誤射、ハンニバル指令による死者が含まれる。

負傷者 8,730人 [2025年3月時点]

ジェノサイド下のアメリカによる イスラエルへの軍事支援

2023年10月7日以降の総支援額及び軍事販売額：

少なくとも 515億ドル以上

[2025年5月時点]

年間軍事支援額：

2018年10月から2028年9月までの10年間協定に基づきイスラエルが受け取る金額は

年間で 38億ドル以上

日本の加担

Instagramで詳しく知る：
@divestmentnenkin @bdsjapanbulletin

日本に住む人の**年金**を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の**投資先** [2025年3月時点]：

イスラエル国債：パレスチナ人の虐殺・民族浄化に関わる企業株式：**2,344億円** **8,758億円**

イスラエルによる占領、ジェノサイド、中東諸国への侵略行為において重要な役割を負う**F-35戦闘機**に関わる日本企業：

[部品製造] IHI・三菱電機 [組み立て] 三菱重工

イスラエルのF-35にも関わる可能性あり

ファナック

ガザのジェノサイドで日々用いられている

155mm砲弾の武器製造、イスラエル軍への納入

イスラエルや米英などの軍需企業にロボットを輸出

6月末、国連特別報告者アルバネーゼ氏が公表した報告書では、ジェノサイドを含むイスラエルのパレスチナ人に対する犯罪行為に何らかのかたちで責任を負っているおよそ50社の名前が挙げられ、ファナック社も唯一の日本企業として言及された。